

令和7年度（2025年度）事業報告 総括

令和7年度においては、人口減少や高齢化の進行、地域課題の複雑化が一層進む中で、当法人は「地域まるごとケア」の実現に向け、全世代を対象とした支援体制の強化に取り組んで参りました。

とりわけ、看護小規模多機能型居宅介護を中心とした在宅支援の充実、障がい児者支援の拡充、訪問看護機能の強化など、医療と福祉の連携を基盤としたサービス提供体制の深化を図りました。また、各事業所においては、「ケア×経営」という根幹のもと、稼働率の向上やサービスの質の向上に努め、地域ニーズに即した柔軟な運営を実践することができ、法人全体で成長した一年となりました。

一方で、人財確保や育成、働きやすい職場環境の整備にも注力し、多様な人財が活躍できる組織づくりを推進しました。加えて、ICTの活用やDX推進への積極的な取り組みが業務改善を通じた生産性向上に繋がり、持続可能な経営基盤を構築して参りました。

これらの取り組みを通じ、米原市内最大規模の社会福祉法人として、地域における福祉の中核的役割を担う法人となる基盤を着実に強化することができたと考えております。

今後も地域の実情に即した支援を展開し、2040年を見据えた「みらい福祉」の実現に向け、より一層の挑戦と深化を続けてまいります。

社会福祉法人ひだまり 理事長 永田 かおり